

すわみつえ通信

No.149 2020年11月16日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

らです。



「オープンにした方がいい」と
参加者から声が上がる中、
傍聴希望の市議会議員を
締め出し、ドアを閉める！

鴻巣市教育委員会は11月14日(土)の9時～10時半、11時～12時半の2回に分け、笠原地域住民に対して「笠原小学校の今後の方針に関する説明会」を笠原公民館で開催しました。コロナ感染防止対策として、事前に参加者は申し込みをして、入場券が配布されての開催でした。

笠原小学校住民説明会 が開催される

ものものしい雰囲気の中

2回目が始まる前に、8人の市議会議員が傍聴を希望しました。12月議会に提案される笠原小学校廃止条例案を審議するため、住民の声を聞くことが大事であるとともに、住民に対する市長の発言を聞くことが非常に大事だからです。

対応でした。

「議員に見られる都合の悪い人や発言しない人がいる」という理由で市教育委員会は傍聴を認めず、ドアを閉めようとした。公共施設などでは、3密を防ぐためにもドアは開放しておくれよと指導している側が反対のことをしていました。参加者からは「閉める理由がわからぬ」「開けましょうよ」と声が上がり、住民側のドアは開けましたが、市長・教育長・職員側のドアはしっかりと閉められたままでした。「誰を何から守るつもり」なのか不思議です。

笠原小学校の存続を求める
原口市長受け取り拒否！
3,787筆の要望署名を

「笠原小学校を守り育てる会」の事務局長が説明会冒頭に「笠原小学校の存続に関する要望賛同者署名」で笠原地域749筆・鴻巣市内1,740筆・市外1,298筆の合計3,787筆と他にネット署名53筆(11月12日現在)が集まっていることを発言し、出席している原口市長に渡そうとしたが、市長は「教育委員会主催の説明会であり、市長部局の催してないため」と受け取りを拒否しました。後日、「市長室に来るよう」「」という

これが地域住民の声「未来を展望して政治をしてほしい」「地域は学校で繋がる」

参加者から「5年前に埼玉テレビ」が笠原小学校を取材して放映された。先

生・地域が協力して、いじめや落ちこぼれない」「学校がなくなったら地域には来ない。企業誘致のプロジェクトでなく人を育てるプロジェクトをやるべき。未来を展望して政治をしてほしい」「児童数減少は今始まつたことではない。市街地調整地域を一部はすして人が入れるよう」「すべき」

小規模校であるから、JRの笠原小学校の良いところを参加者が発言しました。

行田市では住民の声を 反映し小中一貫校を撤回

行田市は義務教育学校設立案(3つの中学校と1つの中学校が統合する小中一貫校)が住民アンケート結果(反対6割、賛成3割)で、11月10日に白紙撤回を決めました。住民の意見を尊重する姿勢に励まれます。

俳句コーナー

秋晴れや フランスパンを
抱き帰る

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

534議会が意見書

しんぶん赤旗 11月14日付



しんぶん赤旗 11月14日付
少人数学級
やっつ
ぱく
都道府県議会で意見書が採択
致で採択。意見書は「少人数学級を求める世論は、今や国民的な共通の要望」だと指摘し、「国に声に応え、国が責任において、少人数学級を推進することと要望しています。
(染矢ゆう子、堤由紀子)

少人数学級の実現を国に求め
る地方議会の意見書が、今年に
入って、少なくとも16道県を含
む534議会で採択されている
ことがわかりました。国の責任
による少人数学級を実現するた
め、さまざまな取り組みが各地
で進んでいます。

高知県議会は「少人数学級の
推進を求める」意見書を全会一
致で採択。意見書は「少人数学
級を求める世論は、今や国民的
な共通の要望」だと指摘し、「国
に声に応え、国が責任において、
少人数学級を推進することと要
望しています。

少人数学級の実現を国に求め
る地方議会の意見書が、今年に
入って、少なくとも16道県を含
む534議会で採択されている
ことがわかりました。国の責任
による少人数学級を実現するた
め、さまざまな取り組みが各地
で進んでいます。

高知県議会は「少人数学級の
推進を求める」意見書を全会一
致で採択。意見書は「少人数学
級を求める世論は、今や国民的
な共通の要望」だと指摘し、「国
に声に応え、国が責任において、
少人数学級を推進することと要
望しています。

少人数学級の実現を国に求め
る地方議会の意見書が、今年に
入って、少なくとも16道県を含
む534議会で採択されている
ことがわかりました。国の責任
による少人数学級を実現するた
め、さまざまな取り組みが各地
で進んでいます。

少人数学級の実現を国に求め
る地方議会の意見書が、今年に
入って、少なくとも16道県を含
む534議会で採択されている
ことがわかりました。国の責任
による少人数学級を実現するた
め、さまざまな取り組みが各地
で進んでいます。

少人数学級の実現を国に求め
る地方議会の意見書が、今年に
入って、少なくとも16道県を含
む534議会で採択されている
ことがわかりました。国の責任
による少人数学級を実現するた
め、さまざまな取り組みが各地
で進んでいます。

「国の責任で実現を」

来年度予算編成で最大の焦点
の一つとなっている少人数学級



質問する畠野君枝議員
=13日、衆院文科委

ためにも来年度から実施を、と
訴えました。萩生田光一文科相
は「不退転の決意で臨む。勇気を
もつた」と応じました。

畠野氏は、国立成育医療研究
センターの「ロナメーデ」もアン
ケートの10月の中間報告で、子
どもたちが引き続き強いストレ
スにさらされ、「学校でもつと
くさん話を聞く時間を作つてほ
しい」などの声が寄せられて
いることを示しました。子どもた
ちの声に寄り添うためにも法改
正による少人数学級実現が待つ
たなしだと迫りました。

衆・参予算委員会での日
本学術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

畠野議員質問 文科相「不退転の決意」

少人数学級子どもの願い

公立小中学校の学級編成標準
は、義務教育標準法で「1クラス40
人（小学1年のみ35人）と定めら
れています。新型「ロナ」で社会的
距離の確保が求められるなか、
文科省は概算要求で義務教育標準
法の改正も視野に少人数学指導
体制の整備を金額を明示しない
「事項要求」として盛り込みまし
た。

畠野氏は、国立成育医療研究
センターの「ロナメーデ」もアン
ケートの10月の中間報告で、子
どもたちが引き続き強いストレ
スにさらされ、「学校でもつと
くさん話を聞く時間を作つてほ
しい」などの声が寄せられて
いることを示しました。子どもた
ちの声に寄り添うためにも法改
正による少人数学級実現が待つ
たなしだと迫りました。

衆・参予算委員会での日
本学術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記

局長（6日）の追及で、首相の
任命拒否の理由が次々に崩

れていきました。菅首相は

ついには苦し紛れの卑劣な
ウソで正当化しています。

「必ず推薦のとおり任命
されなければならぬいわけ
ではない」というのは、内閣

法制局の了解をえた一貫し

た政府の考え方」と繰り返す

菅首相。政府が行

うのは「形式的任
命」「拒否でき
ない」というのが
一貫した政府答
弁。任命拒否が違
法だということは明瞭です。

菅義偉首相による日本学
術会議への人事介入問題。

（11月4日）と小池晃晃書記